

## シンポジウム

# 大戦と プロパガンダ

戦争とプロパガンダにはその規模や激しさにおいて深い関連性がある。二度の大戦時には総力戦を実現すべくあらゆる手が用いられ民衆や兵士への心理的誘導が行われた。自国が正義や自衛のために戦うというイメージを国内外に形成することはどの国でも見られる宣伝の初期的な目的であるが、その手段は多岐にわたる。今回のシンポジウムでは、その誘導方法について地政学的・軍事的・人道的な言説から検討を行う。今日でも行われている言説による戦争を理解する助けとなれば幸いである。

|| 日 時 || 2023年3月22日 (水) 14:30-16:30

|| 形 式 || ハイブリッド

|| 場 所 || 神戸大学鶴甲第1キャンパス国際文化学研究科A棟中会議室(A403)

|| 講 師 || 奥山 真司 (国際地政学研究所・上席研究員)

「ドイツの地政学的プロパガンダ」

中島 浩貴 (東京電機大学・准教授)

「第一次世界大戦前のドイツの民間人と戦争論」

深町 悟 (神戸大学国際文化学研究科・講師)

「第一次大戦における英国プロパガンダの変遷」

|| 司 会 || 余 玖欣 (神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート・学術研究員)

|| 申し込み || [bit.ly/promis\\_project230322](https://bit.ly/promis_project230322)

こちらのQRコードからもお申し込みいただけます→  
オンライン参加の方にはミーティング情報を後日お送りいたします。



### 講師略歴

奥山 真司

国際地政学研究所上席研究員 戦略研究学会理事 日本クラウゼヴィッツ学会理事など  
著書に『地政学—アメリカの世界戦略地図—』(五月書房)など。  
戦略学者として地政学やプロパガンダ、また国際政治におけるリアリズムを研究している。

中島 浩貴

東京電機大学准教授 日本クラウゼヴィッツ学会理事など  
著書に『国民皆兵とドイツ帝国 一般兵役義務と軍事言説 1871~1914』など。  
歴史学者として19世紀後半からのドイツの軍事史などを研究している。

深町 悟

神戸大学大学院講師  
著書に『「侵攻小説」というプロパガンダ装置の誕生』など。  
文学研究者として世紀転換期から第一次大戦に至るプロパガンダ的作品の研究をしている。